

多摩消防団だより

第 2 号
 発行
 平成 19 年 2 月 吉日
 多摩消防団広報部
 印刷
 井上印刷所



平成十九年一月七日、
 生田浄水場において、毎
 年恒例の多摩地区消防出
 初式を、多摩消防署と開
 催しました。

当日は、晴天のもと多
 くの区民が来場し、式典
 表彰に続き、長尾子ども
 太鼓、消防局カラーガー
 ド隊によるドリル演技が
 行われ、最後は消防団を
 はじめ参加部隊による放
 水演技で締めくられ、会
 場は消防団員の防火に向
 けた心意気に満ちあふれ
 一層華やかな出初式とな
 りました。

消さないであなたの心の注意の火。

平成十九年多摩地区消防出初式受賞者

(敬称略)

市長表彰

優秀消防分団

稲田分団

永年勤続功労消防団員

生田分団分団長 中山 浩

生田分団部長 松澤孝治

稲田分団部長 樋山 満

多摩消防団長表彰

勤務成績優秀消防団員

稲田分団部長 手塚貴久

生田分団部長 松本 勇

勤務成績優良消防団員

稲田分団

菅 班 団員 端中正彦

中野島班 団員 田村 潤

登戸班 班長 吉澤久裕

登戸班 団員 清宮勝明

宿河原・堰班 団員 大貫欽也

長尾班 団員 溝江光宣

生田分団

東生田班 団員 木下義麿

中央生田班 団員 森山勝利

大作班 団員 遠藤殿留

長沢班 団員 高橋孝治

退職消防団員

稲田分団

元班長 西山靖弘

山本 隆

齊藤 明

小嶋宗弘

元団員 鈴木 修

元班長 平山茂樹

元班長 元木 誠

特別表彰

稲田分団登戸班 三平雅美

多摩防火協会会長表彰

消防功労部隊

稲田分団 登戸班

生田分団 中央生田班

平成十八年度 多摩消防団の活動

四月

消防ポンプ等性能検査

平成十八年四月二十二日

(土) 川崎市消防総合訓練場において、火災等の災害に迅速に対応出来るようポンプ積載車、小型動力ポンプ、消防ホース及び付属品の総合点検を実施しました。



辞令交付式

平成十八年四月二十二日(土) 多摩消防署講堂において、新入団員7名、昇任団員4名及び退団員7名が多摩消防団長から辞令を受けました。

五月

川崎市水防訓練

平成十八年五月十八日

(木) 多摩川河川敷宿河原堰堤において実施された川崎市水防訓練に、市関係機関、警察、地域防災団体と共に消防団員114名が参加し、水害による被害の防止・軽減を図るための実地訓練を行いました。



七月

稲田分団操法大会

稲田分団

副分団長 濱田基男

稲田分団操法大会は、毎年実施しており、集合・小隊訓練・可搬ポンプ操作を行います。消防団員としての基本動作を習得する為の大切な行事です。また、大会前には月二回の月例会点検の他、週三日の夜間訓練を、一ヶ月間行う為、夜間訓練中は家族より団員と一緒にいる方が多い位です。この訓練を通じて団員相互のより一層の信頼関係が築かれています。



八月

多摩消防団操法大会

「多摩消防団」

消防大会優勝にあたり

稲田分団登戸班

班長 吉澤光宏

今回、第一回大会以来久しぶりに優勝することができました。日頃よりお世話になっております皆様方には深く感謝いたします。多摩消防大会において優勝を目指すことはもちろん大切なことですが、ともすれば良い成績を挙げることだけが目的になりがちです。しかし操法訓練を行うことの意義は、全員が共通意識を持ち理想とする操法演技を十分に研究して、それに近づけるように訓練することや、選手が大会の雰囲気にも飲まれず、実力を遺憾なく発揮できるように努めていくことこそが大切なのだと思います。そしてこれは火災出動時や日頃の消防団活動にも大いに必要とされる部分ではないかと思えます。練習成果を生かすことができ優勝という成績を収めることはできましたが、反省点も多く手放しで喜べる内容ではなかったと感じており、更に質の高い操法演技ができるよう今後も訓練に励んで参ります。



九月

川崎市消防団消防大会



「川崎市操法大会出場にあたり」

生田分団大伴班

班長 鈴木 洋

我々大伴班は、八月の多摩消防団操法大会に続き、九月の川崎市消防団操法大会にも出場しました。八月の大会後忙しいなか時間を作り、一生懸命練習を重ねて市大会に臨みました。これからも訓練を重ね、地域のために消防活動を全うして行きたいと思います。また、皆様の応援ありがとうございます。

「川崎市操法大会に出場して」

稲田分団中野島班

班長 田村賢太郎

この日の為に例年の倍以上の訓練を重ねてきましたが、やはり川崎市大会は緊張するものでした。ほとんど経験の無い昼間の演技、大勢の観衆、一回勝負の緊張感・・・。惜しくも上位入賞はかないませんでした。今回の経験を全員が財産として、今後の消火活動や啓蒙活動に役立てる事ができればと思います。出場に際し、多くの方々から御支援いただき、本当にありがとうございます。



十月

多摩区民祭

第二十九回多摩区民祭が十月二



十一日に生田緑地内で開催され、多摩消防団生田分団が会場警備のため出勤致しました。天候にも恵まれ多くの人出となり、巡回警備においても団員全員が気を引き締めて警備にあたりました。開催場所は樹木が多く敷地も広い為、団員は三班に別れての警備となり、区民祭が何事もなく無事終了出来たことを嬉しく思います。

また、この度消防団員に全国様式の作業服が貸与され、新たな気持ちで多摩消防団が一丸となって地域の防火・防災に向けて、全力で勤めてまいります。

十二月

年末警備

稲田分団 宿河原・堰班

消防団の任務に、年末火災特別警備があります。年末の慌ただしい時期ですが、町内を巡回し、放火等を未然に防ぐための広報活動を行っています。



生田分団 東生田班

十二月三十一日の年末火災特別警備の前に、担当地区の地理確認及び消火栓点検等を東生田班全員で行った他、当日には消防車で、担当地区内の巡回警備を行っています。

消防団員一年目を振り返って

生田分団

東生田班 F団員

私が消防団に入団して早一年と八ヶ月になります。私は運動が苦手な方で操法訓練で走るのが苦労しました。夏には消防総合技術訓練があり、消防学校の教官から操法のやり方など細かく指導してもらいました。一年もあつという間に過ぎ、沢山の人たちと知り合えて消防団に入って良かったと思います。

中央生田班 Y団員

入団後、自分の知らなかった消防団の活動や地域とのコミュニケーションなど勉強になることばかりです。あつと言う間の一年間で、まだまだ先輩から教えて頂く事ばかりです。

大作班 K団員

消防団に入団して、初めは戸惑い不安などありましたが、良い先輩方に恵まれ、消防団の楽しさ、厳しさを教えて頂きました。

(平成十七年度新入団員)

た。出来るだけ長く消防団を続けて行きたいと思っております。長沢班 Y団員

ことわりきれずに入った消防団でしたが、今では消防活動を通じて地域の方々との交流を深める事が出来るようになりました。今後も地域に貢献できるように頑張りたいと思います。



消防団員になつて (平成十八年度新入団員)

稲田分団

菅班 O団員

新入団員で入った時は、大変心配していました。しかし操法練習、大会を通して色々と先輩の方々には優しく、時には厳しく教わりました。夜遅くまで有り難うございました。

登戸班 K団員

入団が決まり、緊張気味に初めて参加した器具点検日に火災が発生。火災現場へ行き先輩方の訓練と実践で培った手際を見て圧倒されました。仕事以外に新しい組織に加わり、仕事との時間の兼ね合いも大変になりましたが、地元で貢献でき知り合いも増え、新しい事も経験し、とても有意義だと感じております。

宿河原・堰班 M団員

入団前は、自分にこの重要な活動が務まるか不安でした。月例、夜間訓練等で先輩方に厳しくも暖かい指導を受け、自信を持って操法大会にも参加できました。これからも地域のために誇りを持って頑張ります。



長尾班 A団員

入団する前は、町内会の青年部の集まり、というイメージが有りました。しかし、入団してから知った事は、稲田分団に所属している事を知りました。これから、起こり得る震災、水害時に消防団員として対処できるよう訓練に望んで行きたいと思えます。

編集後記

多摩消防団だより第2号の発行に際し、御協力頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。

多摩消防団広報部一同